

2月アドベンチャー①
雪にまみれろ



2月5日(日)のアドベンチャーは、小鹿牧場に行ってきました。インフルエンザ流行の影響で、今回の参加者は子どもはたった1人、リーダー3人、スタッフ1人となりました。天気は快晴で、絶好のそり遊び日和！小鹿牧場は大きな山があり、そり遊びにはうってつけのポイントがたくさん！1人用のそりで思いっきり滑るのもよし、2人用のそりで深雪に突っ込むのもよしととっても楽しいそり遊びをすることができました☆

午後はみんなでかまくら作り。全員で入れるかまくらを目標に、大きく、丈夫に作っていきましました。雪を積んで、固めて、穴を掘って…この作業を繰り返していると、寒さも忘れてしまうようでした。人数の少ないアドベンチャーでしたが、雪にまみれてたくさん遊んだ1日でした！

盛岡大学 栄養科学部1年 澤口栞 (おたまりリーダー)



2月アドベンチャー②
スキー&雪まつい

冬の大人気プログラムの1つ、「スキー&雪まつりキャンプ」が2月18日～19日に行われました。会場は、田沢湖県営スキー場です。冷たい風や雪にも負けない元気な子ども達が26名と、子どものようにしゃぎ回るリーダー達7名で盛り沢山の2日間を過ごしてきました。

1日目はスキーに雪まつりに盛り沢山の1日。スキー場は吹雪いたり青空が見えたり、天候がコロコロ変わります。いきなり吹きつける風と雪に子ども達もリーダーも、悲鳴のような、歓声のような声を上げて滑っていました。そして、夜は待ちに待った雪まつり☆会場に着くや否や、ほとんどの子がぐじ屋さんに直行！雪まつり終盤には、恒例のスキージャンプの火の輪くぐりが始まりました。ジャンプの着地が成功しようが、失敗しようが歓声を上げる子ども達。そして、花火が始まるという頃、山の斜面には松明で表された「絆」という字が。子ども達の中にも感銘を受けている子がたくさんいました。その後、松明の「絆」と重なるように花火が打ち上げられていきました。大迫力のクライマックスとなりました！

2日目はまず、朝の集いで「だるまさんの1日」というゲームをして、ぼんやりした頭を目覚めさせ、朝食でしっかりエネルギーの補充です！そして、いざ、スキー場！！この日も雪と風で良いコンディションとは言えませんが、少しくらい寒かろうが、子ども達は気合十分でした。スキーでも遊びでも、力を出し尽くして完全燃焼です。

(盛岡YMCA 家村)

冬の大人気プログラムの1つ、「スキー&雪まつりキャンプ」が2月18日～19日に行われました。会場は、田沢湖県営スキー場です。冷たい風や雪にも負けない元気な子ども達が26名と、子どものようにしゃぎ回るリーダー達7名で盛り沢山の2日間を過ごしてきました。



あの頃、君は若かった。

盛岡YMCAリーダーの三田 庸平 (枝豆) です。僕は岩手県盛岡出身で、1989年4月8日に生まれました。

幼稚園の頃の僕はおままごとが大好きで、友達と料理をしていました。その為周りには女の子が多く男の子とは数人としか絡んでいなかったのを思い出します。そんな僕が小学生になり、外で鬼ごっこやサッカーなど体を動かすようになりました。体を動かすようになった僕は色々なスポーツにチャレンジしました。兄に憧れサッカーをしたり、野球をしたり、水泳したり、母に強制的に合気道をやらされたりなどしました。しかし長く続いたのはYMCAでのサッカー・水泳でした。YMCAにはたくさんのお話せる仲間やリーダーがいたのを思い出します。逆に考えると続けたのが少なく集中力がない子どもでした(笑)小学生の頃はいじめられっ子でYMCAはそんな弱い僕を受け入れてくれる場所でもありました。また、数人しかいない友達の一人の家に泊まりに行ったり、パーティーしたり、野球したりしていました。そんな仲間を支えられどんな苦しいことも耐えてこられたと思います。そして僕は小さい頃からおじいちゃんが大好きでよく福島まで遊びに行きおじいちゃんといとこと旅行していました。その為旅行が大好きな人間になってしまいました。

色々な事があったのですが、全体的に楽しい時間を過ごしていました。

～表紙の写真より～



今年度最初で最後となったフットサル大会。今まで悔しくも行えなかったサッカー大会の分まで、リーダー・スタッフ共に気合十分に準備をしてきました。写真のスズカチームは、フットサル大会にも関わらず、試合の空き時間では皆であっちむいてホイで大盛り上がり。でも、いざ試合となると真剣にサッカーを楽しんでいて、見ているこちらにもサッカーが大好きだ！という気持ちが伝わってきました。好きこそ物の上手なれ！これからも好きなものを通して沢山の出会いを経験してほしいですね。(小川)

MORIOKA
YMCA NEWS

2012年2月号 現役・OB大集結！フットサル大会！！

盛岡YMCAの使命

私たち、盛岡YMCAは、イエス・キリストによって示された生き方に学びつつ、豊かな自然と歴史的伝統に満ちた岩手の地で、子ども、家族、地域とともに公正で平和な世界の実現を目指します。

1. 子どもたちの個性を大切に、それぞれの夢や希望、生きる力を育みます。
2. 家族の絆といのちの大切さを深め合います。
3. 共に生きるために、異なった文化、多様な価値観と出会う場を提供します。



発行人：濱塚有史 編集人：家村知佳 発行所：特定非営利活動法人 盛岡YMCA 岩手県盛岡市本町通3-1-1
 TEL 019 (623) 1575 e-mail: morioka@ymcajapan.org URL: http://www.ymcajapan.org/morioka/

「大人は二十歳になってから」？

小野真美 (介護福祉士 特別養護老人ホーム勤務)

以前見たテレビで「人はいつから大人になるのか」という疑問を、お笑い芸人が医者や教育関係者、心理学者などに聞いて回る番組がありました。詳しい内容は忘れてしまいましたが、結局明確な答えは出せなかったようでした。私もいつの間にか大人になってしまったうちの一人なので、よく「いつからが大人で、いつまでが子ども？」ということを考えます。20歳を過ぎれば社会的には大人と見なされますが、24歳になった今でも自分を子どもだなぁと感じることもあれば、子どもの時とは変わってしまったなぁと思うこともあります。

例えば夏祭りの日。子どもの頃は本当にわくわくして眠れませんでした。太鼓の音はお腹に痛いくらい響いてきたし、外で食べるスイカやかき氷はもっとも美味しく感じたように思います。雪の日もそうでした。寒さも忘れて落ちてくる雪をじーっと眺めていられました。それがいつの間にか、お祭りといえばビール！雪が降ったら車のワイパー上げなきゃ！くらいにしか思わなくなっていて、感動が薄いというか…そんな自分を少し寂しくも思います。大人の感傷なのかもしれ

ませんが(笑)。でも確かに子どもの時のほうが感じ方がリアルというか、その時しかできない感じ方というものがあると私は思います。YMCAで子ども達と遊んでいる時、その場はただの公園ではなく、商店街になったり、南の島になったりと自在に変化していきます。その子自身もお店屋さんやヒーロー、お姫様などくるくると変身していきます。それは日常の中のちょっとした物事に気づきや感動を見出ししているからではないかと思えます。忙しかったり、イライラして心に余裕のない時は心に何も飛び込んできません。子どもだから心に余裕があるとも限りませんが、子どもの方が今しかできない感じ方を大切にしているように思えます。今の子ども達が大人になった時、子どもの頃の感じ方を覚えていなくても、ふとした瞬間にきらっと顔を出すような心の栄養になっていたらいいな、と思えます。そして、いつの間にか大人になってしまった私と「いつからが大人？」という話をしてくれたら嬉しいですね。

皆さんならどう思いますか？

★ 盛岡YMCA フットサル大会 ★

2月26日(日)、盛岡YMCAフットサル大会が盛岡大学体育館で行われました。雨での中止が続き、今年度初めてのサッカー大会でした。雪のない場所でサッカーができるということもあり、会場に集まってきた子どもたちは早速ボールを蹴っていました。また高学年や中学生を中心にサッカーコートでの準備などを手伝ってくれていました。試合が始まると、コート内を思いっきり走ったり・点を取りに行ったりとサッカーを楽しんでいました。また試合と試合の間にはチームの仲間と遊ぶなどして、楽しい時間を過ごしていました。試合を重ねるごとにチーム内で笑顔がたくさん見られるようになっていました。午前中という短い時間でしたが、一人一人がサッカーの楽しさを実感しながら良き一日を過ごしていたようです。

午後にはOB・現YMCAメンバー・リーダーが集まり、交流試合が行われました。一つ一つのプレーに迫力があり、プレーヤーも見ていても楽しめる時間を過ごす事ができました。また、多くの方の参加があり、とても楽しく良き時間を過ごせました。次の機会もたくさん交流して良き時間をみんなでつくって行きたいと思っております。

文責 盛岡大学児童教育学科 三田庸平(えだまめリーダー)



↑スズカ VS インパクト

↑お父さん・お母さんチームはなかなか手強い相手でした！

↑高学年の戦いは熱い！！



↑スズカチーム

↑インパクトチーム

↑グルーヴチーム

↑ウオッカチーム



←デュランダルチーム

←グラスワンダーチーム

↑キングヘイローチーム

現役・OB交流戦！
たくさんのOBの方が参加してくださり、とても賑やかで楽しい時間を過ごせました。

白熱した試合が繰り広げられました。

2月サンデースクール ♥バレンタインパーティー♥

2月12日(日)に2月サンデースクール「みんなでレッツバレンタイン★パーティー!!!」をおでっの生活アトリエにて行いました。参加者は子供5名、リーダー7名でした。14日のバレンタインを一足先にみんなでパーティーして楽しんでしまおう♪ということで企画いたしました。この日作ったのは「アレンジ大福」と「クッキー」です。大福は大変珍しいですよ？でも、中にチョコレートを入れたり、トッピングをすするととってもかわいくて美味くなるのです！みんなで材料を計るところから、混ぜて皮をのばして中身を包むところまで、粉にまみれながら頑張りました。大福の次はクッキー作りに取り掛かりました。生地チョコレートを混ぜたり、思い思いの形を作って焼きあげると、ふっく

らクッキーの出来上がり！生地の柔らかさを、粉を足して調整するのがとても難しく、いっぱい考えながら作りました。上手いかかわからないこともたくさんあったけど、最後は一生懸命作ったお菓子を美味しくいただきました。次回は3月4日(日)に「ゲーム大会」を行います！今年度最後のサンデースクールです。体を思いっきり動かして遊びましょう！
★みんなの参加を待ってます！！
盛岡大学社会文化学科3年 高橋みどり (ダダリーダー)



盛岡YMCA宮古ボランティアセンター 2012年2月報告書

○仮設住宅防寒対策

例年、宮古は2月に入ると寒さが増すと言われていて、今年は寒波の影響で1月から非常に寒く仮設住宅で生活している方々は大変苦労されています。1月後半から仮設住宅の寒さ対策として企業から提供していただいたウレタンマットの設置を進めています。

仮設住宅は居間などの居住スペースは暖房を置いたり、畳やカーペットがあったりと少しは温かいのですが、台所やお風呂場の前はフローリングになっており床下からの冷気が直接伝わり非常に寒い状態です。そのフローリング部分に設置するようにウレタンマットの配布を仮設住宅集会所で行いました。その際お年寄りには荷物の移動や設置が難しいのでYMCAのボランティアが訪問させていただき設置をしました。設置したお家の方は温かさが全然違い台所などで作業がしやすくなったとおっしゃっていました。2月8日現在3か所の仮設住宅の支援をさせていただいています。今後も継続する予定です。



赤前仮設住宅にウレタンマット設置中 (1月19日)



赤前小学校での節分 (2月3日)



第2中学校仮設住宅ウレタンマット設置前(上)設置後(左) (2月6日)

宮古での活動実績
☆受益者数 27214人
☆ボランティア数 9062人
(1月末日のべ人数)

情報コーナー 3月の予定

- ★3月4日(日) 13:00~15:00
サンデースクール「ゲーム大会」(於:仁王児童センター)
- ★3月25日(日)
三陸復興支援フットサル大会(於:県営体育館)
- ★3月26日(月)~28日(水)
サッカー合宿(於:青森県岩木スポーツセンター)
- ★3月30日(金)~4月1日(日)
アドベンチャー3月活動「秋田の湯分校に泊まろう」(於:思い出の湯分校)

赤前仮設住宅での節分 (2月3日)



○節分

2月3日の節分は仮設住宅2か所、小学校2か所で豆まきを行いました。仮設住宅ではボランティアの方が鬼に変装し、一軒一軒訪問し鬼に向かって豆をぶつけてもらいました。皆さん去年は震災など色々なことがあったので、今年は「福」がたくさんあるいい年にしたいとおっしゃっていました。お年寄りの方々は昔を懐かしんで豆を投げている方もいらっしゃり、楽しんでいただきました。学校では鬼とその他のボランティアの方々が招待され、校長先生と共に鬼に扮し、子どもたちが勉強している教室で豆まきを行いました。最初はとても驚いた様子でしたが、みんな必死に豆を鬼にぶつけていました。

宮古ボランティアセンター 大塚英彦

感謝

- 2011年度11月1日
2012年2月27日現在
順不同・敬称略
- 東日本大震災被災地支援募金 献品
小林茂元、新里ちえ子、伊藤真一郎、齋藤凌太、松尾聡子、和田海璃、タナカヒロアキ、阿部春陽、中村恵美子、堺YMCA東三國ヶ丘小学校放課後ルーム、社会福祉法人イエス団友愛幼稚園
 - 維持会費
西村隆太、澤瀬理、庄司栄、大下龍之介、大下凌合子、小畑孝子、金田節子、中野泰希、齋藤凌太、永井ザビエ、重石桂司、布川雅樹、中原真澄、越前谷洋子、小林茂元、水田賢次、井上修三、井上優子、井上浩太郎、新里ちえ子、花松行雄、石渡隆司、角谷晋次、角谷千代子、深澤秀男、深澤多紀子
 - 寄付金
東京外国語大学テニス部OB、西村隆太、布川雅樹、中原真澄、越前谷洋子、石渡隆司
 - 国際協力基金
一戸咲、新里ちえ子、杉下一郎、伊藤光、伊藤恵嗣、伊藤雄基、鶴丹谷三千代、大関靖二、伊藤克見、工藤泰、宮野桐次、千葉代子、川俣吾、宇土澤光里、遠藤雅之、松尾聡子、古和田周吾、古和田龍吾、和田海璃、工藤直子、伊藤みどり